

2021年

1月 ▶ 2月の星空



この図は

1/ 1 ▶ 22時

1/15 ▶ 21時

2/ 1 ▶ 20時

2/15 ▶ 19時

頃の星空です。

(惑星の位置は 2月1日)

北

東

西

南

○1等星

●2等星

●3等星

●4等星以下

●星雲星団

☆ 惑星

天の川

おおぐま

北斗七星

こぐま

北極星

きりん

ケフェウス

カシオペア

M31

アンドロメダ

ペガサス

こじし

やまねこ

カペラ

ぎょしゃ

ペルセウス

さんかく

うお

かに

ボルックス

ふたご

冬のダイヤモンド

こいぬ

プロキオン

冬の大きな三角

ベテルギウス

アルデバラン

おうし

火星(天王星)

ミラ

うみへび

いっかくじゅう

オリオン

リゲル

エリダヌス

くじら

シリウス

M42

うさぎ

おおいぬ

はと

ちょうこくぐ



© 松本零士/郡山市

郡山の日の出、日の入

月の満ち欠け

1/ 1	6:53	16:32
1/15	6:52	16:45
2/ 1	6:42	17:03
2/15	6:28	17:18

新月	1/13, 2/12
上弦	1/21, 2/20
満月	1/29, 2/27
下弦	1/ 6, 2/ 5

※上弦、下弦は半月です。
 ※天王星は肉眼では見えません。

1月・2月の主な天文現象

1/ 3	しぶんぎ座流星群極大
1/21	月と火星が接近
1/24	水星が東方最大離角

冬の寒さが本格的となるこの時季は、冬の星座が見ごろを迎えています。冬の星空は、明るく色とりどりの星が多いため、華やかな印象があります。そのような空で明るく輝く1等星たちを結んでみましょう。まず3つの星を結び、冬の大きな三角を作ることができます。そこからさらに目線を上げて空を広く見ていくと、6つの星からつくる冬のダイヤモンドもできあがります。このように明るい星を見つけていくと、そこに隠れている星座を見つけることができます。ベテルギウスが輝くオリオン座は、冬を代表する星座のひとつで、中央にある三つ星が特徴的です。おうし座はアルデバランからおうしの頭に当たるVの字や背中に輝くプレアデス星団(すばる)を、ふたご座はボルックスとカストルが仲良く並ぶ様子を目印に探すことができます。

また、これらの星を見ていくと、ベテルギウスは赤色、シリウスは青白い色、カペラは黄色、プロキオンは白色などと色の違いに気づくのではないのでしょうか。夜空に輝く星たちはいろいろな色があり、その色の違いは、それぞれの星の表面温度にあります。青白い星は1万度以上と温度が高く、白色、黄色と温度が低くなります。赤色はさらに低く、3000度ほどになります。ぜひ星たちの色という表情も楽しみながら探してみてください。

